

第5回大東市学校統廃合検討委員会会議録（要旨）

1. 日 時 平成18年5月31日（水） 18：30～21：00
2. 場 所 市役所2階 委員会室
3. 議題等 (1)委員交代の紹介
(2)前回会議（近隣市関係者の説明）の感想・意見交換
(3)メリット・デメリットについて
(4)今後の進め方等について

4. 会議録（要旨）

- | | |
|-----|--|
| 会 長 | ただいまから第5回の統廃合検討委員会を開催いたします。
はじめに、委員の交代について、事務局より紹介をお願いします。 |
| 事務局 | - 新委員等の紹介（略） - |
| 会 長 | それでは次に、前回の近隣市関係者の説明について、感想・意見等ありましたら、お願いします。 |
| A委員 | 前回報告していただいた2市ともに、統廃合を実施するに至った事情がありまた長時間をかけて検討されていたので、慎重に検討する必要性を感じた。 |
| B委員 | 統廃合を検討するにあたり、地域住民の意見がいつどのように反映されているのか疑問を感じた。 |
| C委員 | 他市の場合も答申までかなり時間を要しているの、本市でも早く具体的な検討に入っていくべきだと感じた。 |
| D委員 | 適正規模・適正配置といった中間答申に向けて議論を始めるべきと考える。 |
| E委員 | 当委員会では答申を出してから地域に説明をするのか、地域の意見を聞きながら答えを出していくのか、方向性を決める必要があるのではないか。 |
| 会 長 | 中間答申を出すか否か、また審議の途中で地域の意見を聞くのかといった今後の進め方について、今日は議論したい。
その前に、次第にそって第3回・4回の会議録の確認をしたいと思います。
会議録について、各委員のご意見等ありませんか。 |
| 各委員 | 特になし。 |
| 会 長 | それでは次に、本日の配付資料の「学校統廃合のメリット・デメリット」について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | - 配布資料説明（略） - |
| A委員 | 人件費については、教師も含まれていますか。 |
| 事務局 | 府費負担のため、含まれていません。 |

D委員 デメリットについて、人間形成面や教師の教育面のデメリット等の記載がないので、もう少し充実させるべきではないか。

A委員 メリットについても少人数での教育効果等、網羅されていないと思われる。本市では、最も小規模の四条小学校でも11クラスあるので、統廃合を検討するのは時期尚早ではないか。

会長 ただし、5～6年先までみると9クラスとなる予測もあるので、そのあたりを踏まえて検討する必要がある。

F委員 統廃合を検討するにあたり、デメリットをメリットに変えていくという事も考える必要があるのではないか。

また、デメリットの一つに母校が無くなるといった地域的に大きな問題もあるが、少子化が進んでいる以上、統廃合に向けて検討すべきと考える。

G委員 資料の中に「統廃合の目的は、あくまでも教育の改善であり…」とあるが、教育の改善について、教育委員会で指針を出すのか、あるいは当検討委員会で議論するのかといった部分が疑問である。

事務局 教育委員会では、今年度より教育政策の部門を設け、今後の本市の教育の方向性の構築に取り組んでいます。

E委員 小規模校のデメリットとしてクラブ活動の指導者がいないという事もあるしまた統合する事により校舎の改修をできるといったメリットもある。

それらの事も含めて、検討を進めていきたい。

H委員 メリット・デメリット論はどうしても主観が入ってしまうので、「平等」ということを基準にすべきと考える。現在は各学校で不均衡があるので、是正すべきである。

I委員 規模的には500人規模が適正であると考えます。

会長 ただ、現状から考えると、全校500人規模にするのは困難であろう。また、平等の観点は規模だけでなく、通学距離という別の観点もある。

D委員 具体的に統廃合を検討するにあたっては、やはり基準となる中間答申を出す必要があると考える。

会長 しかし、先の具体的な統廃合を見据えた上での中間答申とすべきである。

D委員 中間答申はどのようなものまで求められているか、事務局の見解を聞きたい

事務局 まず、望ましい規模についてご議論いただいて、基本的な考え方を「ものさし」という形で結論づけていただければと考えております。

D委員 教育に関しては、試行錯誤は許されないもので、通学区域適正化委員会の時の中間答申を踏襲する形で良いのではないかと。

会長 しかし、適正規模の下限である12クラス未満のことを議論する必要もあるでしょうし、最後まで見通した上のものでないと、中間答申の意味をなさないと

のではないか。

F委員 なかなか議論が前に進まないのので、会長にたたき台を作成していただいて、それを基に議論を進めてはいかがか。

会長 できれば各委員からも、提案をいただきたい。

D委員 統廃合に向けた具体的な提案は現時点では困難である。

J委員 適正規模やメリット・デメリット論は個々様々であり、統廃合にはそれを超えるような理念が必要ではないか。

会長 前回の通学区域適正化委員会は、その時の状況や地域性等を考慮に入れて検討を行った。今回も、前回の流れを踏まえて進めていきたい。

C委員 次回、会長に案を出してもらって、議論を進めてもらいたい。

会長 案といったものではなく、いくつかの可能性を提示させていただき、それをたたき台として議論してもらいたい。

また、各委員からの考えも募集したい。

事務局の方は、それでよろしいですか。

事務局 結構です。

会長 それでは次に、本日配付されたその他の資料について、事務局より説明をお願いします。

事務局 - 学校施設規模の資料説明（略） -

会長 特に意見等無いようでしたら、本日の会議を終わりたいと思います。

次回は7月26日（水）午後6時30分から開催します。